

今年度のアクションプラン

(1) 重点目標を達成するための具体的な目標及び数値指標

- ・共感的に話を聞いたり、自分の考えや思いを伝えたりすることができる。
(考える子) (達成度 80%)
- ・相手を見て挨拶することができる。
(人の役に立つ子) (達成度 80%)
- ・毎食後、歯みがきをしている。
(元気な子) (達成度 80%)

重点項目 1	① 共感的に話を聞いたり、自分の考えや思いを伝えたりすることができる。
方 策	・教室に目指す「聞き方」「話し方」を掲示するとともに、子供たちが継続して意識することができるよう、声をかけたり振り返りの場を設けたりする。 ・目指す「話し方」「聞き方」のうち、子供自身が目標を決め、取り組むことができるようにする。うなずいたり、ネームプレートを貼ったりするような意思表示も伝える手段であることを子供たちに伝える。 ・学年朝の会、朝活動、学校行事等、授業時間以外においても子供の話す姿や聞く姿を捉え、実態に応じて全体や個別に指導していく。
外部評価者	小中学校評議員
担当	考える子部会
評価方法	保護者評価、児童自己評価、教職員評価
公開の方法	学校通信、ホームページ
重点項目 2	② 相手を見て挨拶することができる。
方 策	・登下校時等、友達、地域の人や来校者等に相手を見て挨拶したり、挨拶を返したりすることのよさを考えたり振り返ったりする場を設ける。 ・挨拶運動等、高学年児童の思いを反映しながら児童会活動を工夫する。 ・挨拶運動は広い意味でのコミュニケーションの入り口であり、「ありがとう」や「ごめんなさい」など、状況に応じて伝えられるよう指導していく。
外部評価者	小中学校評議員
担当	人の役に立つ子部会
評価方法	保護者評価、児童自己評価、教職員評価
公開の方法	学校通信、ホームページ
重点項目 3	③ 毎食後、歯みがきをしている。
方 策	・週に1日歯磨きタイムや毎学期に1回歯磨き週間を設ける。 ・定期的に歯磨きすることのよさや歯磨きの仕方を Teams 等で配信する。 ・歯科衛生士による歯磨き指導。 ・給食時のマナーも同時に指導し、12:45 から歯磨きが始められるようにする。 ・各教室の裁量で、歯磨きをしたことが分かるように可視化する。
外部評価者	小中学校評議員
担当	元気な子部会
評価方法	保護者評価、児童自己評価、教職員評価
公開の方法	学校通信、ホームページ